

経営比較分析表（令和6年度決算）

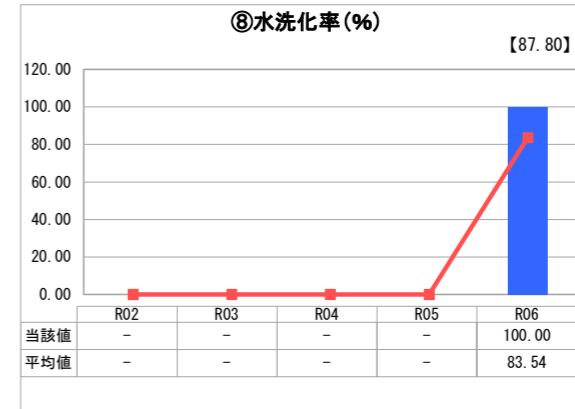
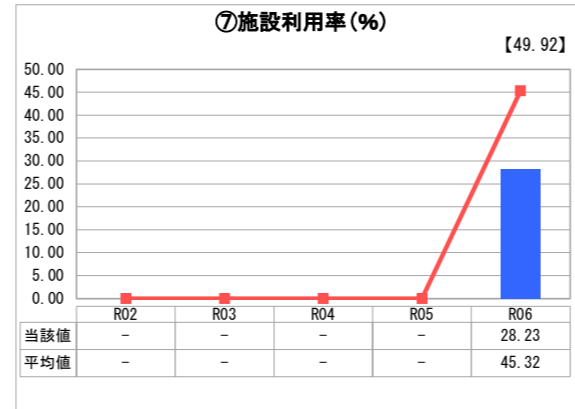
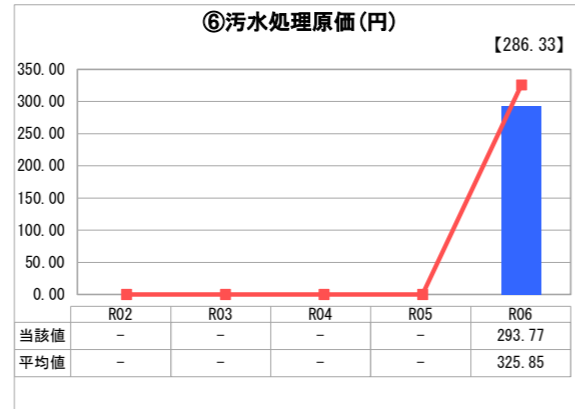
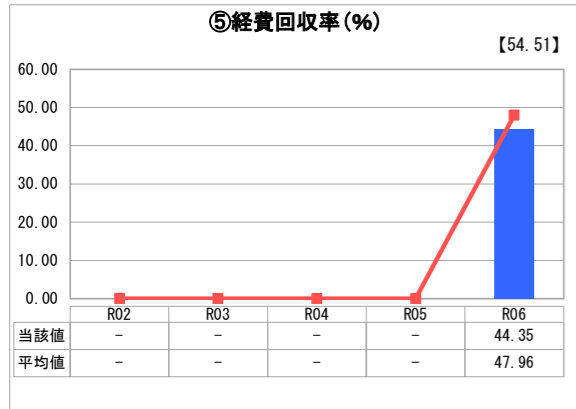
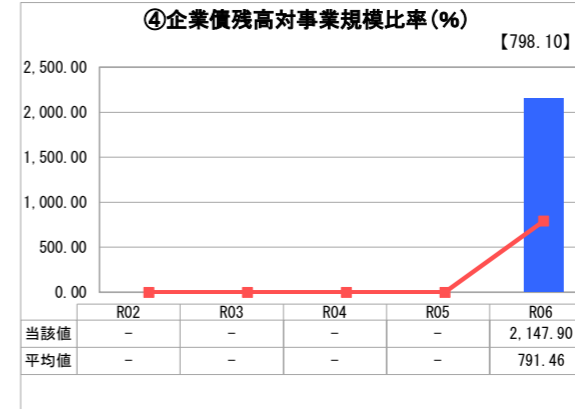
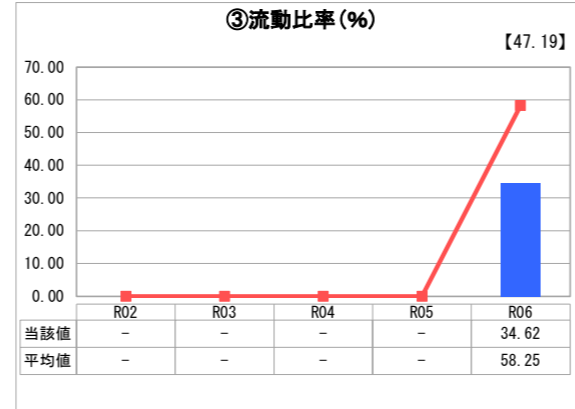
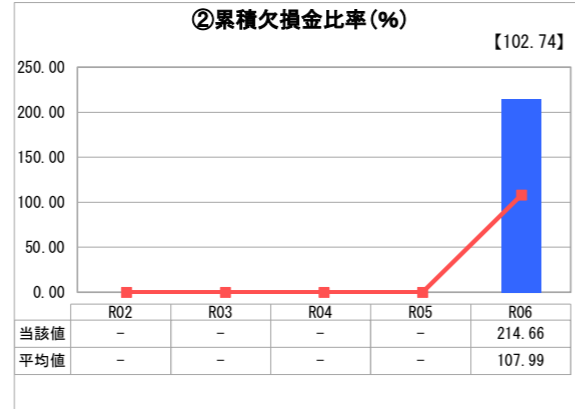
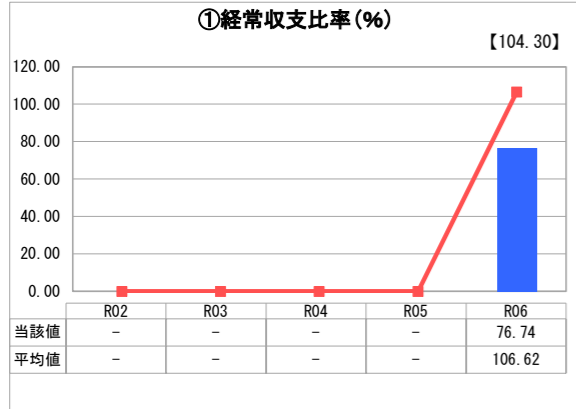
福島県 矢祭町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	84.00	9.67	99.16	2,640

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,145	118.27	43.50
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
494	0.57	866.67

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

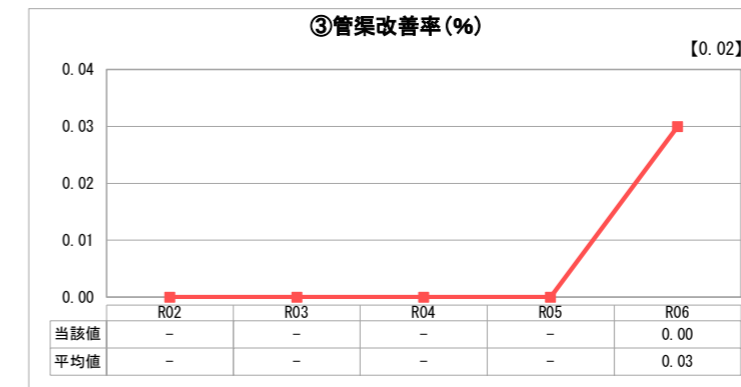
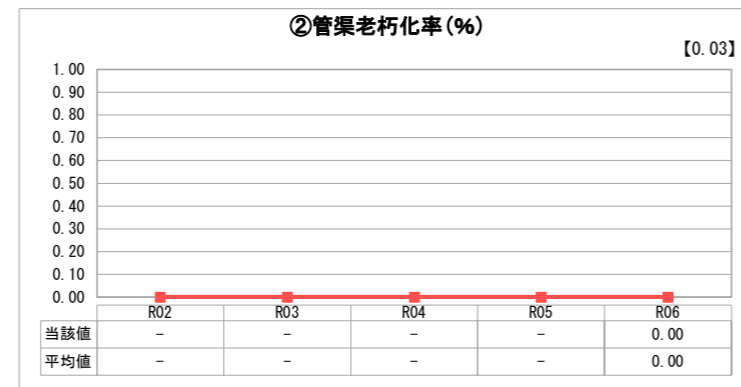
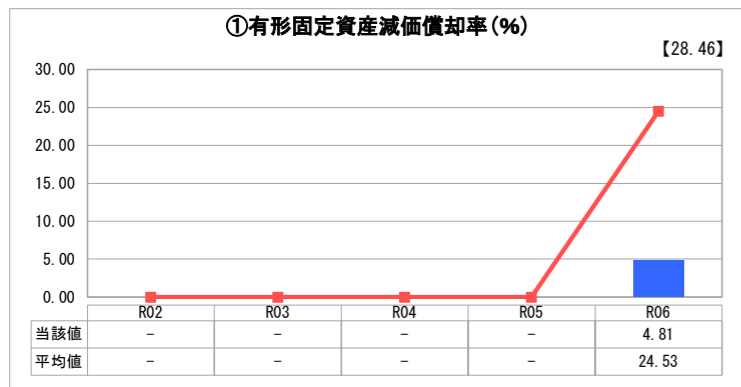
1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は76.74%と望ましいとされる100%を下回った結果となった。これは減価償却費と長期前受金戻入の差が経常損失として現れているためであり、直ちに資金繰りに問題が生じる状態ではない。
 ② 44.35%と類似団体平均値を若干下回る結果となった。本事業の営業は使用料で賄えておらず、一般会計補助金に大きく依存している状況にある。
 ③ 汚水処理原価は293.77円と類似団体平均を下回っているものの、修繕費等の経費も掛かっているため、今後も経費節減に努め、効率的な施設運用が必要である。
 ④ 施設利用率は28.23%と類似団体平均を下回っており、人口減少により当初計画していた汚水処理及び処理施設を有効的に活用できていない状況にある。

2. 老朽化の状況について

本町で供用開始しているのは関岡下地区（H13.4.1）・関岡上地区（H17.3.31）の2地区のみだが、供用開始後20年以上が経過し、経年劣化による設備修繕等の維持管理費用が出てきている。今後、多額の修繕費用がかかる恐れがあり、施設の現状を把握・分析し、適正な維持管理・延命化を図っていく必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

人口減少により使用料収入が減っていくことが想定されるため、今後はますます効率的な施設運用が求められる。施設の維持管理費用が増大することが懸念されるため、計画的な機械設備の整備が必要になってくる。これからも費用の平準化、維持管理費の抑制に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。